

地域が抱える課題を 金融機関が解決策を提案 地域経済 活性化フォーラム

関東財務局の主催による「地域経済活性化フォーラム」が11月11日(金)に鳳月カントリー倶楽部で開催されました。このフォー



約100人が出席したフォーラム。

ラムは、地域が抱える課題を説明し、金融機関等が解決策を提案するもの。平成27年度から開始され、佐野市、新潟県村上市(村上市・鶴岡市の合同)に続き、3回目の開催となります。

今回は、ユネスコ無形文化遺産への登録に向けて連携事業を実施している鹿沼市との合同で「広域連携を生かした観光振興などによる交流人口の拡大に向けて」をテーマに開催。両市が観光における課題や取り組み状況などを説明し、足利銀行・栃木銀行・鹿沼相互信用金庫・烏山信用金庫などの地域金融機関から課題に対する支援策が提案されました。

また、日本政策投資銀行・日本政策金融公庫・地域経済活性化支援機構などの政府系金融機関から事例紹介や、東日本旅客鉄道大宮支社から平成30年度に栃木県で開催されるデスティネーションキャンペーンについての説明が行われました。

フォーラムには両市のほか栃木県・商工会・観光協会・経済団体などから約100人が出席し、地域が抱える課題や提案内容の共有化を図りました。

JR烏山線の利用向上

市民号で優雅な2泊3日の旅を満喫

今年もJR烏山線の利用向上や市民号の交流、行政区の活性化を図ろうと、「第9回那須烏山市民号」が、2泊3日の2コース

化を図ろうと、「第9回那須烏山市民号」が、2泊3日の2コース

で開催されました。



上から、紅葉の大川鉄道SLの旅、三大名城を巡る旅に参加した皆さん。

11月10日(木)から12日(土)までの「三大名城天空の城竹田城跡・世界遺産姫路城・国宝松江城神々が集う神在月の出雲大社鳥取砂丘3日間」の旅には、20人が参加。また、13日(日)から15日(火)までの「長島温泉ホテル花木に泊まる日本一! なばなの里イルミネーションと紅葉の大井川鉄道SLの旅」では、41人が参加し、観光名所巡りを楽しみました。いずれのコースも、出発時にJR烏山線に乗り、利用向上を図りました。

妊婦サロン特別講演会

ライフプランを考える

10月29日(木)、保健福祉センターで、「妊婦サロン特別講演会」が開かれ、地域住民約20人が参加しました。この講演会は、近年女性の社会進出が進み、男女の区別なく重要な役割を担うこの時代に、結婚のタイミングや、子どもをいつ・何人もつかなど、自分のライフプランについて考えてもらおうと市が初めて開いたものです。

当日は、中央クリニックの師長であり不妊カウンセラー・浜崎京子さんを講師に、「将来妊娠を希望する皆様へ」と題した講演が行われました。高年齢に伴い妊孕力(妊娠のしやすさ)が低下することや、不妊治療について講演されたほか、妊娠に向けて今何をすればいいかなどの提案などが行われました。参加者にとって、ライフプランを考える上で有意義な時間となりました。



妊娠について語られた講演会。

八溝そば街道推進協議会で試食会 秋そばの出来栄え上々



▲秋そばの味を確かめる関係者たち。
◀収穫仕立ての秋そばの実。



11月9日の、八溝そば街道推進協議会(國井豊会長)による「新秋そばの試食会」がそば夢サロン「梁山泊」で開かれ、同協議会の会員など35人が参加し、秋そばの出来栄えを確認しました。

講評では、梁山泊の廣木克臣さんが、「今年の秋そばは、例年の半分程度の収量だが、クズの混じりも少なく良質。打つ際に弾力と粘りを感じる。食感も良く、例年になく1等品で極上と言える」と出来栄えを評価しました。

また、市では、八溝そばの流通及びブランド化を促進するために、「八溝そばブランド力向上支援事業費補助金」の制度を創設しました。これは、原材料として市内の生産者が生産した八溝そばを購入する市内のそば店や事業者に対し、購入費用の一部を補助するものです。市では、中山かぼちゃに続く第2のブランド化を目指し、積極的な支援を図ることとしています。

田植えから仕込み、ラベルづくりまで…

「自分だけのお酒づくり」を体験

那須烏山市農村都市交流促進協議会(島崎健一代表)では、「世界にひとつだけのお酒づくり体験2016」を行い、県内外から参加した約100名の参加者たちは一からお酒をつくり、古き良き時代の農村の暮らしを体験しました。

今年で6回目となるこの催しは「オールハンドメイド」で自分だけのお酒をつくれるのが魅力。参加者たちはまずお酒をつくるためのお米づくりから開始します。大木須の田んぼで5月に田植え、9月に稲刈りを行いました。お米づく

りのほかにも、マイお猪口づくりなどを体験しました。

11月12日には、島崎酒造で実際にお酒の仕込みを体験。参加者たちは米洗いや麹造り、米蒸しをして冷やすなど酒造りの基本を学びました。その後、お酒のラベルの絵付けを行って自分だけの純米吟醸酒が完成しました。

宇都宮市から参加した小学4年生の桜井利花子さんは「本当にお米からお酒ができるとわかってすごかった。今は飲めないけど、大人になったら自分で作ったお酒を飲んでみたい」と笑顔で話していました。



仕込みを体験する参加者。

シリーズ 市の文化財 第68回



市指定天然記念物 高瀬のカヤ(高瀬)

樹高約24m、目通り5.5m、枝張り約20m、推定樹齢600年のカヤの大木です。

主要地方道宇都宮那須烏山線の高瀬交差点を市道方面に折れ、(烏山からは左折・宇都宮からは右折)約600m南進すると、市道から少し離れた場所にカヤが見えます。

過去に落雷の被害を受けたようで、樹幹の基部が空洞になっているなど損傷が見られますが樹勢は旺盛です。傍らには阿弥陀堂が建立され、空洞部分には地藏菩薩が祀られるなど、古くから信仰の対象となっていたようです。今でも「阿弥陀如来の仏木」と呼ばれ地域のシンボルとして親しまれています。

健康福祉まつり

第11回

2600人が交流・福祉の輪広げる

今年で11回目となる「那須烏山市健康福祉まつり」が、11月6日(日)に、保健福祉センターで開かれ、2600人が訪れました。

この催しは、健康や福祉への関心を高め、年齢や障がいを超えた交流の輪を広げようと、「健康はみずから歩く一歩から、心で結ぼう福祉の輪」をスローガンに、市社会福祉協議会を中心とした実行委員会が毎年開いているものです。

開会式では、主催者を代表し、社会福祉協議会の丸山眞一会長がいさつしたほか、市民や市内の小・

中学生による福祉標語ポスター作品の表彰なども行われました。標語の部では、476点応募があった中から、荒川小6年の内藤

瑠奈さんの「あいさつは心をつなぐバトンパス」が最優秀賞に。ポスターの部では、37点の中から、境小6年の両方萌々さんの作品が見事最優秀賞を受賞しました。

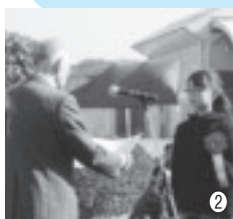
開会式が終わる頃になると、会場は大勢の来場者でいっぱいになり、健康福祉体験・啓発コーナーでは、歯周病チェックや骨密度検査など、「気軽に健康チェックがで



①



③



②



⑤



④

①大勢の人でにぎわう各種ブース ②福祉標語・ポスター作品の表彰式
③子どもからお年寄りまで参加したミニ・コン・タック体験 ④那須烏山ふるさと太鼓保存会による太鼓演奏 ⑤歯科医師による歯周病チェック
⑥輪投げに挑戦する子どもたち ⑦クラブオアシスによる健康体操。



⑥



⑦

きる」と好評で長蛇の列ができていました。また、高齢者施設利用者や南那須特別支援学校の児童・生徒の作品をはじめ、福祉標語ポスターの展示なども行われました。さらに、那須烏山ふるさと太鼓

保存会による太鼓演奏やクラブオアシスによる健康体操などが披露され、会場を盛り上げました。

ブルーベリーの苗木配布と木工体験を開催

健康福祉まつり当日、市育樹祭の一環として、会場内で市緑化推進委員会による「苗木配布会」と「木工体験教室」が行われました。

苗木配布では、同委員会の会長でもある大谷範雄市長やマロニエメイツから、ブルーベリーの苗木が400人に手渡されました。木工体験では、マイ箸づくりが行われ、大勢の親子連れでにぎわいました。また、会場では緑の募金も行われ、森林や緑の大切さを考える機会となりました。



ブルーベリーの苗木を配布。

地域の商工業PR・地域活性化のために

商工会まつりと軽トラ市

那須烏山商工会による「商工会まつり」と「スー爺サンタの軽トラ市」が、11月3日(木)に山あげ会館周辺で開かれました。これは、地域の商工業のPRや地域活性化を目的に毎年開かれているもの。9回目となった今年は、約2000人が訪れ、にぎわいました。

会場では、商工会青年部や商工会女性部、企業による模擬店やお楽しみ抽選会、もちまきなど様々な催しが行われたほか、特設ステージでは、フラダンスや日本舞

踊、吹奏楽の演奏などが行われ、会場を盛り上げました。また、毎年大人気のミニアキუმの乗車体験には、順番を待つ親子で長蛇の列ができ、子どもたちの笑顔で溢れていました。

軽トラ市では、農産物直売所による農産物や加工品の販売、ガールスカウトによるバザー、まちづくり団体による飲食物の販売など17店舗が並び、大勢の人が立ち寄りしました。



①

①盛り上がりを見せたステージイベント
②子どもたちに大人気のミニアキუმ乗車体験
③スー爺サンタの軽トラ市



②



③

テーマは 未来を創ろう地域と農業 JAまつり盛大に

JAなす南では、「未来を創ろう地域と農業」をテーマに、11月5日(土)・6日(日)の2日間にかけて、JAなす南本店で、第18回「JAまつり」を開き、約1万6千人の地域住民が訪れました。会場では、農産物の品評会や



上:大勢の来場者が立ち寄った農産物の販売/
下:「LOOP CHILD」によるライブ。

販売のほか、地産地消を促す米や和牛・豚肉、大豆の消費拡大コーナーなど数多くのテントが並びました。特設ステージ、中学生や高校生による吹奏楽部の演奏、地元歌手歌謡ショー、梨の皮むき・早食い大会、志鳥出身の柴野真理子さん

がボーカルを務める「LOOP CHILD」によるライブなど様々なステージイベントで会場を沸かせました。また、会場中央に設置されたやぐらでは、がらまきが行われ、子どもから大人まで夢中になって参加しました。

那須烏山商工会と烏山信用金庫が連携協定締結 市内産業の振興と発展を目指して

10月27日(木)、烏山信用金庫本店で、那須烏山商工会(中山巖会長)と烏山信用金庫(東原民雄理事長)の「連携に関する協定書」の締結式が行われました。

この協定は、連携を強化することで、地域の中小企業・小規模事業者への効果的な支援に努め、産業の振興・発展を目的とするもので

す。今後の支援としては、地域を担う人材育成や各種ニーズに対応したセミナーや講演会の開催、地域産品や地元企業の販売拡大に関わるビジネスマッチング、経営計画の策定においての助言、地域資源の活用推進、地域産業の活性化など9項目が連携事項として盛り込まれています。



「連携に関する協定書」の締結式。

烏山高×高根沢高コラボ企画！ 高校生が大人の修学旅行で観光名所を案内

本市の地域資源の有効活用などを行う市まちづくり研究会に所属する烏山高4人の生徒が考案した計画をも

りなどを生徒が案内しました。また、市まちづくり研究会委員長の足利工業大学の福島二朗准教授が案内役と

- ①収穫したもち米を使ったもちつき体験
②地域住民が手がけた作品が展示された作品展
③直売所による加工品の販売も大盛況。



七合公民館まつりと 泥んこ田んぼ体験事業収穫祭

七合公民館（駒場不二夫館長）では、11月13日（日）、七合会（木村保司会長）と合同で、「七合公民館まつり」と「泥んこ田んぼ体験事業収穫祭」を開催し、地域住民やボーイスカウト、若鮎クラブの子どもたちなど約200人が晴天の中、文化と収穫の秋を満喫しました。

当日は、七合会と大桶地区みどり保全会（木村義二会長）が10月に収穫した古代米を使った赤飯や地元野菜がふんだんに使われた豚汁などが振る舞われたほか、野菜などの直売も行われ、にぎわいを見せました。また、餅の杵つき体験も行われ、たくさんの子どもたちが参加しました。

館内では、公民館まつりとして、烏山語りの会による民話語りや、烏山南公民館の館長でシルバー大学OBの鈴木初男さんによる手品が披露され、子どもから大人まで楽しめました。さらに、恒例の作品展も開かれ、地域住民から集めた水彩画や盆栽、写真など多くの作品が展示されました。



烏山常磐津教室による常磐津の演奏。

11月6日（日）、烏山公民館で、伝統文化へいざなう会（梅田英雄会長）による「伝統芸能へのいざない」が開かれ、約80人の地域住民が落語を

初開催「伝統芸能へのいざない」 落語家登場で会場笑いの渦に

楽しめました。これは、多くの人に落語や常磐津などの芸能に興味を持ってもらおうと同会により初めて開かれたものです。

当日は、烏山常磐津教室や常磐津紫摩さんによる常磐津の演奏が行われた後、落語芸術協会理事・真打の古今亭寿輔さんと落語芸術協会二つ目の春風亭昇々さんによる落語が披露されました。次々と語られる落ちのある面白おかしい話に観客は笑いの渦に包まれました。

同会長の梅田さんは、「今後も古今東西の伝統ある文化を紹介していきたい」と話していました。



古今亭寿輔さん。



春風亭昇々さん。

南那須医師会の研修会

在宅医療で 自分らしく生きる



終末期の過ごし方を提案する萬田さん。

南那須医師会（高野和郎会長）による第2回在宅医療介護連携研修会が、11月13日（日）に烏山公民館で開かれ、同医師会の会員や医療関係者、地域住民など192人が参加しました。

この研修会は、安心して暮らせる在宅医療を目指し、医師や地域住民が一緒になって終末期ケアや在宅での看取りについて考える機会を持つために開かれたものです。

当日は、在宅医療をテーマに、緩和ケア診療所「いっぽ」医師の萬田緑平先生により、「最期まで目一杯生きる」と題した講演会が開かれました。講演では、「本人の意思を徹底的に支援すること」や、「医療に頼れば上手くいくわけではな

い」と話し、実際に在宅医療で終末期を迎えた患者の事例などが紹介されました。

萬田先生は、「人はいつか生涯を終えなければならぬ。最期まで自分らしく生きるために、成功で終わらせるために在宅医療のあり方を考えてみませんか」と訴えかけました。



泉溪寺を案内する烏山高の生徒。



和紙すき体験をする参加者。

烏山高校と高根沢高校の生徒によって企画された、40〜60歳代を対象とした1泊2日のバスツアー「大人の修学旅行」が11月19日（土）、20日（日）にかけて行われ、県内外から訪れた35人の参加者が観光を楽しみました。

このツアーは、本市と高根沢町が包括連携協定を結ぶ栃木銀行から同市町の交流人口の増加を目的に、「若者の視点で地域の魅力を発信できないか」と、両校に提案したのがきっかけで行われたもの。高根沢高6人と

とにJR東日本企画が詳細を決め、実施されました。

高根沢高の生徒が担当した初日は、同町を巡るコースで、安住神社で旅行の安全祈願や宇津資料館の見学、大森果樹園でのリング狩りなどを行いました。そして、烏山高の生徒が担当となった翌日は、隠れた紅葉の名所でもある泉溪寺や近代化遺産として知られる島崎酒造のどうくつ酒蔵、境橋の見学、和紙の里での和紙すき体験、国見山みかん園でのみかん狩

して参加。市の魅力を生徒とともに発信しました。

東京都から参加した安川仁美さんは、「高校生が地域のことを考えて作成したツアーと聞いて、興味を持って参加した。栃木県という日光や那須の印象が強いが、より東京に近い地域にこのような素晴らしい観光スポットがあることが分かった。見所がコンパクトにまとまって周りがいい。ぜひまた来たい」と話していました。

自分の限界へ挑戦！ 烏山高校で持久走大会

烏山高校で恒例の「持久走大会」が、11月5日（土）に開かれ、全校生徒が自分の限界に挑戦しました。

今年で7回目となった持久走大会。同校の校庭をスタートし、

市内を周って再び校庭に戻るコースは、男子14.8キロメートル、女子7.7キロメートルの道のりです。途中、アップダウンが激しいコースに悪戦苦闘する生徒たちで

したが、沿道からの地域住民の声援にこたえるかのように力走する姿が見られました。ゴールした生徒たちからは、達成感に満ちた笑顔で溢れていました。



上：スタートダッシュする男子生徒。
下：まちなかを走り抜ける女子生徒。

「秋の褒章」鈴木さん 社会奉仕活動で緑綬褒章

11月2日(火)秋の褒章が発表され、野上の鈴木喜子さんが、社会奉仕活動で緑綬褒章を受章しました。

鈴木さんは、昭和45年に旧烏山町で結成された烏山保健所健康教室友の会に入会後、同町食生活改善推進協議会会長、県食生活改善推進団体連絡協議会会長を歴任し、半世紀以上活動された功績がたたえられ、平成9年には、厚生大臣表彰を受賞しました。平成16年から2年間は、全国食生活改善推進団体連絡協議会監事として務められました。

鈴木さんが活動を始めた頃の旧烏

山町は、周りの市町に比べ保健事業が活発で、地域住民の栄養改善を目的とした「牛乳」や週1回の「鶏卵」の摂取の呼びかけなどから始めたといえます。その後、高度成長期には、生活習慣病や子ども

の食育などが課題となり、それらを改善するための講習会を開催するなど県内各地の活動をけん引してきました。

「地産地消」という言葉はなかったけれど、地域の食材を使った料理

の提案は今でも印象に残っている」と振り返る鈴木さん。「この受章は、自分一人ではなく、一緒に活動した仲間や地域住民との連携があったおかげ」と話していました。



緑綬褒章を受章した鈴木さん。

「秋の叙勲」教育功労で根本さん 瑞宝双光章

文化の日の11月3日(木)秋の叙勲が発表され、野上の根本幸久さんが瑞宝双光章を受章しました。根本さんは、昭和46年に教職に

就き、南那須教育事務所長、南那須地区小・中学校長会長、旧南那須町教育長などを歴任し、教育の振興に尽力され、荒川小学校校長を最

後に退職されました。

現職教育長の時には、荒川小学校の校舎、体育館の改築工事の計画や町内の小・中学校へのコンピュータ導入などを積極的に進め、地域の教育力の向上に努められました。また、

平成23年から3年間、那須烏山市人権擁護委員として、人権思想の普及啓発に努められました。

受章を受けて、「『教育は人なり』という言葉のもつ意味と重みを大切にしたいと願いつつ、先生方の情熱や使命感、責任感、人間性、人権の意識等のさらなる向上と活躍を期待し見守っていききたい。今後は、多くの皆様のお力添えに感謝しながら恩返しをしていきたい」と話していました。



瑞宝双光章を受章した根本さん。

左から、興野さん、滝田さん、石井さん。



75歳を超えても現役

関東G古希軟式野球大会 本市から3人が出場

75歳以上のお年寄りによる軟式野球大会「第14回関東G古希軟式野球大会」が、10月25日(火)から27日(木)に茨城県で開かれ、本市で活動する古希野球チーム「烏山スネークス」から選抜された旭1丁目の滝田正さん、旭2丁目の石井好保さん、興野の興野紀勝さんの3人が、下野の国喜寿クラブの一員として出場しました。

この大会は、それぞれの都県で予選を勝ちあがった16チームが集う大会で、栃木県からは、激しい接戦を繰り広げた結果、同クラブが今回の出場枠を勝ち取りました。

当日は、2回戦まで駒を進めましたが、埼玉県代表チームに5対4で惜しくも破れ、ベスト8となりました。3人は、「惜しい試合をして悔しいが、これからも健康を維持して野球を楽しみたい。これから練習を重ね80歳以上の大会で優勝するのが夢です」と声をそろえて話していました。

南那須空手道スポーツ少年団の田崎裕乃さん 関東大会で大健闘の3位

南那須空手道スポーツ少年団に所属する南那須中3年の田崎裕乃さん(上川井が、10月9日(日)に群馬県で開かれた「第19回関東中学生

初めてという田崎さん。「今まで関東大会で良い結果が出せなかったので、3位を取れて嬉しい」と話す一方で、「高校生になってからが勝

宇都宮工業高校3年の安藤綾音さん

栃木県初！女子高生が技能五輪に出場

10月21日(金)から山形県で開催した「第54回技能五輪全国大会」に、栃木県で初めての女子高生選手として宇都宮工業高校建築デザイン



「これからも頑張りたいです」と話す安藤さん。

科3年の安藤綾音さん(金井1丁目)が出場しました。

この大会は、23歳以下の若手技能者が41職種で技能レベル日本一を競うもの。今年は、本県から安藤さんや3人の男子高校生を含む50人が17職種に出場しました。

安藤さんが出場した職種は、建築大工。複雑な形状の小屋根組の一部を作る課題に2日がかかりで取り組み、86人の選手と競いました。結果は、残念ながら上位入賞は逃しましたが、「終わってみるともう少しできたのではないかと悔いが残

った。来年リベンジしたい」と新たな抱負を語ってくれました。

「家業を継ぐことが将来の夢」と話す安藤さん。幼い頃から、家具製造業を営む父親・大祐さんの背中を見て育ち、高校も専門的なことを学びたいと同科へと進みました。来年1月には、建築大工技能士2級の検定試験が控えています。取得すれば、県内の女子高生では初となる快挙。夢のために奮闘する安藤さんに今後の期待が寄せられます。

烏山小2年 檜山雅友ちゃん 珠算大会で大活躍

市内の珠算塾に通う烏山小学校2年の檜山雅友さん(南1丁目)が、珠算大会で次々と優秀な成績を残しています。

10月16日(日)にちぎ健康の森で行われた「第52回栃木県珠算競技大会」では、ジュニアの部(小学2年生以下)で個人総合競技、読上暗算、読上算、団体競技の4種目で優勝。同日行われた「全日本通信珠算競技大会」でも、小学4年生以下の部で見事優勝の座を勝ち取りました。

さらに、11月13日(日)に東京都で開かれた「第55回関東珠算競技大会」では、小学4年生以下280人の選手が集う中、個人総合、フラッシュ暗算、団体競技の3種目で3等の上位入賞を果たしました。

雅友ちゃんは、「練習の成果が出て嬉しかった。2年生の間に暗算7段、珠算4段を取得することが目標です」と笑顔で話していました。

また、5歳の弟・義友くんも、第52回栃木県珠算競技大会でジュニ



トロフィーを手に笑みを見せる雅友ちゃん。

アの部に出場し、個人総合、読上暗算競技2種目で3等という素晴らしい結果を残しました。

空手道選手権大会」に出場し、強豪選手が集まる中、女子個人形の部で3位入賞を果たしました。

関東大会で個人での上位入賞は



関東大会で活躍をみせた田崎さん。

負。高校の部活で周りにおいていけないように気を引き締めて頑張りたい」と、今後の抱負を語ってくれました。

また、田崎さんは、11月13日(日)に茨城県で行われた「第35回関東甲信越国際剛柔公道会空手道選手権大会」で、大学生や社会人の選手が出場する中、女子形の部で準優勝を勝ち取りました。今後は、翌年1月に埼玉県で開催される「第22回全国道場選抜空手道大会」に出場する予定です。

日赤への寄付金40年間コツコツと… 旭1丁目 森井さんが銀色有功章を受章

11月18日(金)、旭1丁目の森井國廣さんが、日本赤十字社から「銀色有功章」を受章しました。

この章は、日本赤十字社が永年にわたり赤十字奉仕活動に従事した者、高額の社資の拠出者・寄付者、



銀色有功章を受章した森井さん。

及び献血に貢献した者などを対象に授与する記念章です。

40年間をかけて毎年コツコツと寄付を行ってきたという森井さん。今回、20万円に達したことで、同章を受章しました。また、昭和57年には、青少年赤十字の講習会の指導者としても活動が評価され、銀色有功章を受章しています。

森井さんは、「これからも赤十字のさまざまな活動の手助けになるように寄付を続けていきたい」と話していました。

横枕青年団がど田舎祭りを初開催

10月29日(土)、横枕の旧やまびこの湯からすやまを会場に、横枕青年団による「ど田舎祭り」が初開催され、市内外から約300人が訪れました。

祭りでは、団員など5人により、那須烏山市産の野菜を使用したパスタ対決が行われたほか、サッカー教室、ステージイベントなど盛りだくさんの催しで会場を盛り上げました。また、本市で2回目の開催となる「トゥー！ピー！ヨッシャ！」



上：那須烏山市産の野菜を使用したパスタ対決
下：盛り上がりを見せたお笑いLIVE。

お笑いLIVE「も開かれ、吉本お笑い芸人の「上原チョー」「G.O.」皆川」「ヨッシャ比留間」が登場し、お笑いネタを次々と披露

しました。さらには、恒例の団員たちによる飲食の模擬店や企業出店のテントが並び、大勢の人でにぎわいました。

烏山語りの会 第10回記念発表会で語りを披露



大勢の観客の前で語りを披露。

烏山語りの会(大喜正昭会長)では、11月12日(土)、烏山公民館で「第10回記念発表会」を開催しました。

同会による発表会は毎年行われており、今回は第10回を記念して初の2部構成で行われました。第1部では会員8人により「若がえりの水」「お菊ものがたり」「蛇姫様」などの民話を披露。第2部では同会に語りを教え、毎年この発表会で語りを披露している仲信代さんが、稲澤「すえさん、

原直子さん」とともに語りと歌とピアノで「雨情物語」を、その後、歌とピアノでのミュージカルソングなども発表されました。

当日は、地域住民のほか、鹿沼市からも「鹿沼民話の会」の会員などが会場を訪れ、約200人が会員らの語りに耳を傾けました。

大喜会長は、「毎年、聴きに來てくれている方に感謝している。今後この活動を続けたい」と話していました。

トリックオアトリート!

英語でハロウィンパーティー

10月30日(月)、野上体育館で「ハロウィンパーティー」が開かれ、仮装した30人の子どもたちが参加しました。

これは、県内で英会話講師などをする仲野智子さん(谷浅見が、ハロウィンを楽しみながら英語に親しんでもらおうと初めて開いたイベントです。

当日は、ハロウィンに関するワードが書かれたカードをめくるゲームなどが行われ、子どもたちは楽しいひと時を過ごしました。



仮装してゲームを楽しむ子どもたち。

▶ミニアクュムに乗車中!
▼おいしいピザはいかが?



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計グループ ☎0287-83-1112

大木須で恒例の新そばまつりに1千人

けんちんそばを求める長蛇の列。



子ども観光大使のたまごが

和紙の里で和紙すきを体験

栃木県後援認定事業として

行われている「めざせ！栃木県子ども観光大使2016」が、11月13日(日)、和紙の里で開かれ、観光大使を目指す子どもたち20人が訪れました。

これは、子どもたちが自分の故郷に誇りを持ち、地域の魅力を発信できる担い手を育成するために、3年前から栃木県子ども観光大使実行委員会が県内27か所の観光地で開いているもの。3か所以上の会場に参加するなどの条件を満たせば観光大使として認定されます。



和紙すき体験に挑戦する子どもたち。

当日は、那須烏山市教室として、烏山和紙の特徴や原材料、製造工程を学んだ後、和紙のはがき作りに挑戦しました。子どもたちは、初めての和紙すき体験

11月20日(日)、(一社)里山大木須を愛する会(堀江一恵代表)による「大木須新そばまつり」が大木須のオオムラサキ公園で開催されました。今年で23回目の開催となる同まつりは、毎年、市内外から1千人近くが訪れるほどの人気ぶり。今回も地元産の食材をふんだんに使った「けんちんそば」を求め、オープンと同時に大勢の来場者が長蛇の列をつくっていました。

また、大木須特製「焼きおにぎり」や「芋串」も大好評。来場者は、紅葉真っ盛りの里山をバックに、秋の味覚を楽しみました。

街に賑わいを興す会

紅葉・そば・抹茶作法を楽しむ

11月20日(日)、街に賑わいを興す会・小川二三雄会長による「着物で紅葉巡り」が行われ、着物に身を包んだ地域住民47人が市内を散策しました。

山あげ会館からバスに乗りし

に悪戦苦闘しながらも、真剣な表情で取り組む姿が見られました。また、PRのための観光動画も撮影し、本市の魅力を堪能しました。

た参加者は、紅葉で有名な落石が見渡せる烏山大橋や滝の太平寺、龍門の滝、金井の泉溪寺などを巡り、紅葉を楽しんだほか、同日に大木須のオオムラサキ公園で行われていた「大木須新そばまつり」にも参加し、手作りのそばの味を堪能しました。

また、龍門ふるさと民芸館では、抹茶作法体験が行われ、お茶のいただき方などお茶席でのマナーを学びました。



紅葉を楽しんだ一行(太平寺)。

市歌謡協会チャリティーイベント 歌や踊りの発表会

市歌謡協会(高田悦夫会長)によるチャリティー発表会が、11月3日(木・祝)に大金グランドホテルで開催され、100組を超える参加者が歌や踊りを披露しました。今回のチャリティーの収益金3万円は、同協会から市社会福祉協議会に寄附されました。寄附金は、今後、福祉活動などに活用されます。



練習の成果が披露されたチャリティーショー。

おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 加藤 暖奈子(隆行・奈津美) 旭2丁目
 菱沼 妃南乃(貴彦・佳子) 上境
 小林 結歩(祐太・恵美) 下境
 大橋 柚花(拓人・美花) 野上
 小森谷 樹(亮・さおり) 野上
 水沼 優斗(賢一・友美) 野上
 狩野 桐諒(智皓・元美) 宇井
 深澤 暖太(靖・由莉子) 南大和久
 栗田 愛梨(賢一・梨奈) 下川井

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●第22回会長杯混合ソフトボール大会
 (10月11日(火)・13日(水)、緑地運動公園)
 ▼優勝…藤田 ▼準優勝…こぶし台
 ▼第3位…三箇、南大和久 ▼最優秀選手賞…塩田均 ▼優秀選手賞…玉造拓磨

●第11回那須烏山市民親善交通安全ゲラウンド・ゴルフ大会 (10月20日(火)、大桶運動公園)
 「男子の部」▼優勝…山中正勝(南2丁目) ▼準優勝…大森明(滝田) ▼第3位…永山王一(金井2丁目)

「女子の部」▼優勝…高德里子(中央1丁目) ▼準優勝…蛭川洋子(滝田) ▼第3位…岩崎チヨ子(初音)

●第11回那須烏山市民秋季市民ソフトテニス大会 (10月23日(日)、緑地運動公園)

「中学生男子の部」▼優勝…滝口夏叶・高徳勇斗(南那須中) ▼準優勝…小林祥真・薄井勇人(南那須中) ▼第3位…佐藤優河・戸谷寛孝(南那須中)・塩野谷瞳真・高徳涼馬(南那須中)

「中学生女子の部」▼優勝…永島千豊・碓氷清華(南那須中) ▼準優勝…綱川穂乃花・大森紗亜弥(南那須中) ▼第3位…山下さくら・福田紗也(南那須中)・内藤未唯・小池明日香(南那須中)

「一般男子の部」▼優勝…内藤宣紀・荒井由裕 ▼準優勝…西川立郎・由村亮 ▼第3位…秋元隆夫・木下光司

「一般女子の部」▼優勝…坂主慶子・平野幸子 ▼準優勝…丸山七海・丸山ミツイ ▼第3位…片岡悠衣菜・高橋滯

「シニア男子の部」▼優勝…今井保二・笠井修 ▼準優勝…大山賢一・大金正 ▼第3位…平野元・谷口弘海

「シニア女子の部」▼優勝…佐藤万理子・大崎美佐子 ▼準優勝…古内晴代・久保田薫子 ▼第3位…森島ケイ子・塩野目美津子

●秋季婦人バレーボール大会 (10月25日(火)・26日(水)、南那須中学校体育館)
 ▼優勝…からいず ▼準優勝…四ツ葉 ▼第3位…リバティ

●第11回市民剣道祭 (11月5日(土)、七合小学校体育館)
 「小学2年生以下の部」▼優勝…井口向(烏山剣道スポーツ少年団) ▼準優勝…高野大翔(烏山剣道スポーツ少年団)

「小学3・4年生の部」▼優勝…高野裕翔(烏山剣道スポーツ少年団) ▼準優勝…小

森咲芽(烏山剣道スポーツ少年団)

「小学5・6年生の部」▼優勝…鈴木佳実(宏倫剣道スポーツ少年団) ▼準優勝…沖村愛希(宏倫剣道スポーツ少年団) ▼第3位…相ヶ瀬快(宏倫剣道スポーツ少年団)

「中学生男子の部」▼優勝…人見匠真(南那須中) ▼準優勝…滝口恭弘(南那須中) ▼第3位…小森稜太(烏山中)

「中学生女子の部」▼優勝…高野未来(烏山中) ▼準優勝…安齋瑠夏(烏山中) ▼第3位…高橋幸奈(烏山中)

●第11回関東選抜生涯軟式野球大会 (11月4日(金)・6日(日)、緑地運動公園)
 ▼第3位…烏山スネークス

市内で紅葉と雪の絶景広がる



11月24日(木)、市内で今年初めての雪が観測され、紅葉と雪のコントラストが美しい光景が広がりました。宇都宮では31年ぶりの観測で話題となりました。



八雲神社も雪景色。

編集後記



○今月は、ビックニュースがあります！みなさんご存知かとは思いますが、30日(日本時間1日未明)に「烏山の山あげ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録決定されました。

○私自身あまりにも大きな大きなニュースすぎて正直、実感がわかないのが本音なのですが、これはとてもすごいことなのです。だって世界が認めた「お祭り」なんです！そう考えると鳥肌が立ちます…よね？

○でも、登録が決定して「おめでとうーよかったー」で終わるのではなく、これからどうこの歴史を継承していくか？が重要です。山あげ保存会の会長も言っていました「市民自慢のお祭り」になっほしいですね。○「自慢」といえばお祭りではないですが、我が家にも自慢の「人」がいます！まあ、それは父なのですが…。期日前投票のことを何回言っても「さげっぜんとつひょう」になっちゃうのです。

気絶してどうするんだ！と家族の笑いをとってくれる父は私にとってある意味自慢です(笑)



Information



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

★一般図書★

『無葬社会』 鶴飼 秀徳
『常備菜 2』 飛田 和緒
『ビジュアル ダ・ヴィンチ全記録』
ビューレント アータレイ
『人間の煩惱』 佐藤 愛子
『試行錯誤に漂う』 保坂 和志
『天子蒙塵 1』 浅田 次郎
『みやこさわぎ』 西條 奈加
『メビウス1974』 堂場 瞬一
『リーチ先生』 原田 マハ
『慈雨』 柚月 裕子

★児童図書★

『さがそう! 生きものかくれんぼ』 今泉 忠明
『ハーブをたのしむ絵本』 大野 八生
『ぐるぐるの図書室』 工藤 純子
『うめちゃんとたらこちゃん』
もとした いづみ

『トマとエマのとどけもの』 大庭 賢哉
『かっぱ』 柳田 国男
『ゆっくりおでかけ』 五味 太郎
『かまくらレストラン』 真珠 まりこ
『まめめくくん』 デヴィッド カリ
『ほげちゃんとこいぬのペロ』 やぎ たみこ

★DVD★

『ピンクとグレー』 行定 勲監督
『母と暮らせば』 山田 洋次監督
『猫侍 南の島へ行く』 渡辺 武監督
『杉原千畝 戦後70年特別記念企画』
チェリン・グラック監督
『ザ・ブリザード』 クレイグ・ギレスピー監督
『最高の人生のつくり方』 ロブ・ライナー監督
『おおかみこどもの雨と雪』 細田 守監督
『バケモノの子』 細田 守監督
『帰ってきた手裏剣戦隊ニンニンジャー』
竹本 昇監督

2016.11.1現在
()対前月比

人口 26,627(-27)

男 13,171 女 13,456

出生 10 死亡 29

転入 58 転出 66

世帯数 9,417

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報統計グループ
(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

特大のカップにコーヒーなみなもと 朝ドラ
を見て今日が始まる 川俣登志子(旭)
開校の母校の校歌口ずさむ青垣の友いかにい
ますや 柳 つしま(中央)
何処までも追って行きたし風の街おはら流し
の風の盆唄(越中八尾) 矢口 玄鳥(大金)
若き日は明日逢うサヨナラ交してた永遠の別
れのさよなら知らずに 吉澤 紅月(南)

短歌

福澤 悦子 選

煙草やめ寂しい口にいれる 齋藤 恒子(落合)
竿自慢鮎の釣り果は口にせず 森 豊(中山)
菜園の雑草だけが倍も伸び 石川 義郎(興野)
不祥事へ役員並び頭下げ 小川 昌子(向田)
川柳 篠崎 酔月 選

川柳

庭先の皇帝ダリア真つ盛り 須田 孝子(城東)
風にのり柚子の香とどくベッドまで 吉田喜枝子(興野)
天高し農にいそしむ姉傭ぶ 古内 晴代(金井)
ひとり身の淋しさつのる秋の暮 市川 柳子(南大和久)
俳句 齋藤 穂 選

文芸コーナー★

齋藤 穂 選

ふるさと応援寄付金

・ 渡辺雄一様(千葉県船橋市、土田満
治様(石川県金沢市)、奥茂宏様(神奈川県
横浜)、笠井勝(東京都原から1万円が
本市に寄附されました。)
・ 黒田敦大様(東京都小平市)から2万
円が本市に寄附されました。
・ 村井和歌子様(愛知県半田市)、成行
和加子様(東京都大田区)から3万円が
本市に寄附されました。
・ 石川浩之様(東京都大田区)から5万
円が本市に寄附されました。
・ 羽鳥広宣様(東京都中央区)から30万
円が本市に寄附されました。
・ 匿名希望者様36人から79万5千
円が本市に寄附されました。
■ 那須烏山市奨学基金
・ 秋山久様(東京都小平市)から2万円
が本市に寄附されました。
■ 物品寄附
・ 南那須地域医療を守る会から、
定性免疫診断装置1台、携帯型心
電計一式、血糖自己測定器一式、水
銀レス血圧計2台、スチール製車
椅子1台、ベッドサイドレール1
組が寄附されました。
■ 社会福祉事業寄附金
・ 那須烏山商工会(中村恵之工業部会長
と烏山燦陶会(瀧田順一)会長から27万
7089円が社会福祉事業寄附金
として本市に寄附されました。

シリーズ

鳥山高校ってこんなところ！部活動を知ろう編⑨

卓球部

広報「なすからすやま」では、鳥山高校の部活動で頑張る生徒を紹介します！



2年

左:男子部長 西原直輝さん(中央1丁目)
右:女子部長 福田歩美さん(那珂川町)

支えてくれるOBやOG、地域の方々に感謝しています。今は団体戦に出るのにぴったりの人数しかいないので、来年は、もっと部員を増やし、個人・団体でも上位を目指せるように強化をしたいと思います。

卓球部は、鳥山高校の旧体育館を練習場に男子4人、女子4人で毎日活動しています。週末になると、歴代のOB・OGが訪れ、練習に参加しアドバイスをくれるなどの交流もあります。現在は、1月の県北部新人大会への出場に向けて、一人ひとりの技術を磨くために基本を中心に練習を重ねる部員のみなさん。人数が少ない中でも男女とも県ベスト8を目指していると意気込みを語ってくれました。

ゆるキャラグランプリ投票結果 投票ありがとうございました!!

市のイメージキャラクター「ここなす姫」、「からすまる」、「やまどん」が「ゆるキャラグランプリ2016」に出場しました。

昨年より、順位を総合1位、ご当地18位上げることができました。この結果は皆様のご協力なしには、なしえなかったとキャラクター一同感じています。これからも応援よろしくお願いします。

結果は以下のとおりです。

【投票結果】

- 総合：292位
- ご当地：182位
- 投票数：8146票



園児が国見の山でみかん狩り

すくすく保育園の年長組の園児22人が、11月14日(月)、国見山みかん園(小森義男代表)でみかん狩りを体験しました。園児たちは、木にたわわに実ったみかんに大喜び。甘酸っぱい香りが漂う中、日当たりの良い急斜面のみかん畑でネットいっぱいにみかんの収穫を楽しみました。



みかんをもぎ取る園児たち。